

2015年11月30日

# 横浜市立青葉台中学校 学校だより 自由と規律 -12月号

Tel 983-1062 Fax 983-7103

E-mail: [y2aobada@edu.city.yokohama.jp](mailto:y2aobada@edu.city.yokohama.jp)

発行者: 青葉台中学校 校長 脇山 幸之

今年も最後の月12月を迎えます。特に2学期は9月体育祭、10月文化発表会、合唱コンクール、11月マラソン大会が終わりました。みんなで感動して、それぞれの人の心にそれぞれの出来事、風景、音声などが残ったと思います。当然、僕にも本校の素晴らしさの一つになっている積極的に、各種行事に取り組むみんなの姿が目に残り付いて残りました。皆さんはどうでしょうか？年末まであつという間に終わります。日本人なら誰でもが考えるように良いお正月を迎えたいと思います。そのためにしっかりと最後のしめくくりをやりましょう。特に3年生は、受験(検)を迎えています。特に集中していきましょう。どんな場合も悔いが残るのは、自分にやり残したことがあるからです。悔いを残さないようにいつもの合言葉、そうです「けじめと集中」。それにはまず、きちんと体調を管理することが求められます。そのために、まず日常生活を規則正しく送っていただきたい。

クラスごとに目標を再度確認！全員で、しっかり年の終わりをめざし進めていきましょう。そして全員で心豊かな新年、お正月を迎えましょう。

今月はストリート・スマートになるために について 記載します。

横浜市で行っている人権をテーマにしたスピーチコンテスト(横浜国際人権スピーチコンテスト)で最優秀賞を受けた生徒児童はニューヨークの国連本部に【よこはま子どもピースメッセンジャー】として表敬訪問をしました。(本校から、3年前田里奈子さんが青葉区代表として参加したコンテストです。)その活動が11月7日~14日におこなわれました。その引率として今年横浜市立中学校長会の会長の南中学校の西校長が行ってこられて、その時のお話を伺いました。結論から言って、僕もよく言っていること、皆さんも感じられていることに通じることでした。再度認識していきたいものです。

今回会われた人は、国連の高須事務次長、クリスティーナ・ガラッチ広報担当事務次長(スペイン)、ユニセフ最高顧問坂井スオミさん達だそうです。このように主要なポストで2人の日本人が活躍されています。ちょっと話がずれますが、国連のことを調べてみました。①国連で働いている職員は、専門職以上をあわせて31000人程度。そのうち日本人は764人で、全体のわずか2.4%だそうです。これでも10年前と比べると40%近く増えたそうです。他の国と比較するとまだ極端に少なく、この数年間は頭打ちの状態なのだそうです。②国連に拠出している分担金は、260億円以上でアメリカに次いで世界で2番目に多く、率にすると10.8%。(2013年10月現在)。

先ほどの話に戻って。この3人の方々全員、次のように言われていたそうです。「日本人は、人前ではあまり積極的に意見を述べないのが礼儀正しいとされているようですが、もうすでに世界はグローバル化されていて、そんなことは世界的には通じない。それを日本人は奥ゆかしいとされているようですが、世界からは、なんて自分の意見のない人だろう。あなたは何もわかっていないのね！」と見られているのだそうです。日本人でも「世界で活発に活動されている方は、でしゃばらない範囲をわきまえ、適切な意見を述べられています。」と話をされたそうです。また、日本の方は、「私になんか何もできません。」などと謙虚な態度を示されますが、とんでもない話だとか。日本は、国連への分担金では世界で2位の260億円を拠出して十分な貢献をしているのです。これには自分が直接ではないけれど、寄与しているのです。「もっと誇りに持っているのでは？」と指摘されていたそうです。このように日本人は自尊心が低いとも言われていたそうです。もっと自己有用感を持つということです。

では、具体的に、どんな人材が求められているのですか？という問いには、国際社会に貢献したいという使命感や精神的な強さが必要だということです。困難にもめげず目標に向かって立ち向かっていける人物が求められています。また、国連ではポストが空いたらそこに応募するのが一般的で、即戦力として活躍できるだけの知識や経験も必要とされているようです。このような人を世界は、特に国連のような地球規模の仕事場では、求めているようです。

これは、例のストリートスマートの考えを目指さなければいけないということですね！青葉台のみんなは日々そういう時間を学校でも多く送っています。これを今後もみんなで意識して、行きましょう。つまり、自分の有用感をきちんと感じる。そして積極的に自分の意見を思考して、発信して、そして意見を戦わせるようにしましょう。その手法はディベートの授業がお手本ですね？

○このコーナーではいろんな数字(データ)を記載、その数字を見て考えていただきたいのです。

さーどうしましょうか。

横浜では、12月を、「いじめ防止啓発月間」としています。これに伴い各学校では、のぼりやポスターを掲示して啓発していきます。また、僕がいつもつけている「オレンジ色のリボン」は、子ども虐待防止のシンボルです。いじめの一種といえる虐待も絶滅させたいと願うのは僕だけではないでしょう！皆さんも日常生活において、特に12月は意識を高めてください。いじめ、虐待、暴力等 絶対反対!!! 0を目指して!!!

それに合わせて、今月のデータは、市教育委員会が公表した「26年度の暴力行為・いじめ・不登校についての調査結果」から掲載します。詳細は市教委のホームページからも見ることができます。

暴力行為発生は対前年度10.6%減少。不登校児童生徒の状況9.3%増加。いじめの認知件数24.3%減少。

●暴力行為発生件数：

小学校で1,655件(14.8%減)、中学校で2,045件(6.8%減)、全体で3,700件、10.6%の減少です。

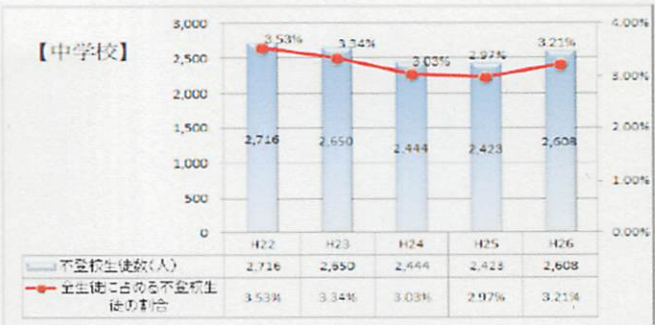
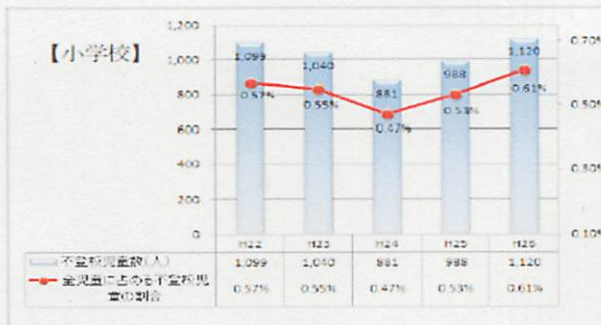
	H22	H23	H24	H25	H26	増減件数	増減率
小学校	771	928	1,219	1,943	1,655	▲288	▲14.8%
中学校	2,174	2,115	2,006	2,195	2,045	▲150	▲6.8%
計	2,945	3,043	3,225	4,138	3,700	▲438	▲10.6%

●不登校の児童生徒の実態：

【理由別長期欠席者数】

	H24	H25	H26
病気	691	627	563
経済的理由	2	4	2
不登校	3,325	3,411	3,728
その他	445	485	380
合計	4,463	4,527	4,673

毎年、今頃の季節になると、こういうデータが公表され、増えた、減ったと一喜一憂していますが、結論から言うと、これらはどれも、発生件数が0にならないと意味がないと思ってしまいます。現実の手が追いつかない状況であり、関係している児童生徒が少なからずいるんだということを肝に銘じて、削減を目指して、学校は励んでいます。しかし、複雑化したネット環境が、引き起こす原因になっている物も多いことは事実です。特にLINEによるいじめまがいのつきあい、それが原因で学校に来にくくなったり、それが原因で学校で暴力に及んだり、本当に複雑です。しかしこれらに地道に取り組んでいかねばなりません。しかも24時間家庭と両輪で、子どもたちと接していくことが要求されます。是非再度、連携をしっかりと携えていくことの重要性を皆さんで認識しましょう。



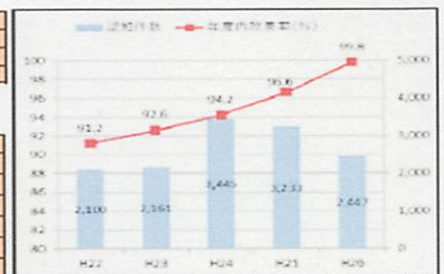
●いじめに関して：

(1) いじめの認知件数

	H22	H23	H24	H25	H26
小学校	1,199	1,324	2,421	2,279	1,781
中学校	901	837	1,024	954	666
計	2,100	2,161	3,445	3,233	2,447

(2) いじめの認知学校数、1校あたりの認知件数、1000人あたりの認知件数

		H22	H23	H24	H25	H26
小学校	1校あたり件数	3.5	3.8	7.0	6.6	5.2
	1000人あたり件数	6.2	7.0	12.9	12.3	9.7
中学校	1校あたり件数	6.2	5.7	6.9	6.4	4.5
	1000人あたり件数	11.7	10.5	12.7	11.7	8.2
計	1校あたり件数	4.3	4.4	7.0	6.6	5.0
	1000人あたり件数	7.8	8.0	12.9	12.1	9.2



○ 進路説明会を開催、3年生はいよいよ受験シーズンのモードへ切り替えです。11月2日

高校の入学試験には時間があるように思えますが、実際は私学の高校は12月から本格化します。疑問・不安点は学校に相談してください。多くの保護者のからも参加いただき、意識の切り替えも目的の一つとして説明会を行いました。

○ 個別支援学級、見学会に出かけました 11月5日

恩田町にある知的障害者 障害福祉サービス事業所「青葉杜の葉」を訪問し、作業を通して自立を目指している人たちの働いている様子を見学して、自分の進路を考える機会にしました。真剣な眼差しで見学、実際の作業もさせていただきました。

○ 3年生の横浜市の学力状況調査実施 11月5、6日

先日学力状況調査の報告を、簡単な分析付きで発行しましたが、今回は横浜市が更に横浜の子どもたちの課題を見据えて、カリキュラムや指導方針の方向付けに活用しようということで独自に行っています。その是非については議論がありますが、やっているからには結果を活用し、改善につなげていかないといけないと考えて取り組んでいきましょう。

○ 学校保健委員会 食育の授業 11月10日

今年のこの委員会は食べ物について研究しています。1回目は朝食の重要性についてのDVD鑑賞を行い、実際に説明を聴こうということで、横浜F・マリノスのチームでふれあい事業をなさっている望月選担当部長に本校に1時間程度、食べる物の重要性や、場面に応じた(テストを受ける、大事な大会本番日など)食事のとり方を説明いただきました。マリノスチームが横浜の中学校等に少しでもお役にたければという意味で多くの学校によく来てくださいます。実践で日々研究されている方からのお話は貴重なものです。皆さんは学んだ内容で何を実践していますか？

○ タスマニアから先生が来校(11月4日)、浜松市の中学校(5日)、文部科学省(4日)、そして教育

### 部の大学生（25日）から視察・インタビューを受けました。

今年の夏タスマニアでお世話になった先生が日本にいられて、本校を是非視察したいということで来校されました。オーストラリアに訪問した生徒の数々に直接会い、その後の様子や何か得た成果は？などを質問されてフォローの一環としておられました。オーストラリアや特にタスマニアに留学への案内もいかがとっておられました。興味がある方は校長室に資料があります。詳細はそれをご請求ください。浜松市立の小中一貫の庄内中学校から、本校の各種の体験型授業・活動やストリートスマートのことにについて聞きたいということで2人の先生が来校されました。また、4日には文部科学省から特に本校で実施している学生ボランティアによる放課後の補習事業について調査・見学をしていかれました。また東京大学教育学部の4年生の卒業論文作成に当たり本校の活動を研究の1つにしているので実際にインタビューしたいということで受けました。国際交流の意義や、体験活動の意義、そしてストリートスマートの概念についてお話をしました。本校はどこから流れているのか不明ですが、学校で行っている内容についての認知が結構なされているようで、注目されている部分もあるのだと認識しました。パイオニア校と真に言えるように一緒に努力しましょう。

### ○ 11月12日 青葉区の先生たちの研修会

横浜市では区ごとに、基本的に年に2回全教科の先生がそれぞれ集まり、研究授業を行い、その後その授業の改善点などを話してスキルアップを図っています。今回は青葉台中では社会科のそれを行いました。委員会からも指導主事が来られて今回は、「今行っている授業を更にアクティブ・ラーニング手法で行うには」というテーマで議論も行いました。もう一つ養護教諭の先生方も本校で、区の研究テーマである「ネット依存予防のための健康教育を考える」について議論をしました。全市での報告会が12月9日西公会堂で、瀬谷区の発表と合わせて行われます。

### ○ 11月13日 青葉台地区小中一貫事業で授業研究会 市授業力向上の研究授業を実施

青葉台中ブロックでは、年に数回小学校中学校の先生が一校に集まりその授業を共同で参観し、その後研究討議を行っています。5時間目に全科目で研究授業をしました。そして6時間目は、今年も数学で市の授業力向上の研究指定校を受けており、その授業の研究会を行いました。今回特に目新しいテーマではありませんが、子どもの意見をいかに出させるかを考えた授業づくりに関心が集まっておりました。

### ○ 地域との交流も盛ん！ 14日青葉台地域77'ラ'・すてっぷ祭り、22日社福祉祭り、くらら楽市（1025）

青葉台地区恒例の福祉祭り、すてっぷの5周年記念祭り、くらら楽市などの活動に参加し地域との交流を楽しみました。

### ○ 2年生、戸隠で植えた米で餅つきを行いました！ 11月18日

戸隠で収穫されたもち米を持参頂き、餅つきを楽しみました。杵と臼に、てこずりながらもおいしい餅を楽しみました。

### ○ 11月20日 人権講習会が開催されました。

作家の中村勝男氏にご来校いただき、ご自身の経験をもとにした勇気づけられるお話を聞き、生徒たちも聞きいりました。

### ○ 青葉台地区 学校・家庭・地域連携事業 ふれあいコンサートを開催しました！ 11月24日

青葉台中学校区学校家庭地域連携事業のふれあいコンサートが今年も好評のうちに開催されました。本校に進む通学地域に存在する、青葉台小学校、榎が丘小学校、鴨志田第1小学校の児童の合唱、リコーダ演奏、PTAのママさんコーラス、青葉台中合唱コンクール3年最優秀クラス3組、そして本校吹奏楽部の演奏を鑑賞し合いました。地域からは連合町内会会長山川氏を始め、町内会長たちに参加いただきました。平日の午後でしたが、ゆったりとした心地よい、ぞくぞくとする感動を感じられる時間でした。参加された皆さんありがとうございました。こういう機会を通じて地域の風通しをもっとよくしていきましょう。

### ○ 11月26日マラソン大会が行なわれました

天候が不調で間際まで多くの方にご迷惑をおかけした結果となって申し訳ありませんでした。恒例の子ども国でのマラソン大会は、真剣な表情の子どもたちの素晴らしい走りでも無事終わりました。自分との闘いである競技ですが、これもクラス全体での励まし合いがいたるところにあり、一体となった連携を作ることができました。

### ○ 本年度の卒業式について

別途お知らせいたしましたように、卒業式は今年度は3月14日(月)に行います。予定では、月曜日になっているわけですが、準備などの関係や、生徒たちと過ごす時間について考えて、3月13日の日曜日は最後の授業を行い、終了後、式の準備にとりかかることにします。その日の代休は前倒しで3月7日にとります。予定の調整時にご考慮ください。

#### \* 部活動などで頑張る生徒たち（敬称略）

今月は朝会で表彰がなく少しさびしい？下記の活動で活躍した生徒をお知らせします。

◎ 平成27年度横浜市中学校総合体育大会 閉会式 横浜文化体育館にて 11月11日  
 総司会 佐藤 愛香 横浜市歌斉唱 指揮 中関 美南子

#### \* 生徒会の活動（敬称略）

\* 新生徒会役員は、協力して、素晴らしい活動を実現し、より良い青葉台中になる様に協力、努力を始めています。  
 みんなで協力してやっていきましょう。

#### \* PTA、部活動振興会 の活動 スローガン：青中に行こう！知ろう！楽しもう！子どもの笑顔のために！

PTA：2学期の学校行事、文化発表会、合唱コンクール、マラソン大会等。次々と行われる各種活動がより有意義になるよう、子どもたちと一緒に、子どもが中学生の時の保護者の楽しみと思える参画の仕方でもみんなで力をあわせて努力していただきました。

十文化委員会主催のピーズ講習会開催（11/16）駅前前のトーカイ（手芸用品店）から講師の方にお越しいただき約30名の参加者でUVレジピーズ作りを楽しみました。思い思いの図柄を作成し参加者の懇親を深めました。僕も実際に作り愛用しています。

部活動振興会：部活動のサポート活動を特に2学期になってもやっていただきました。ありがとうございます。

